三井物産とCelanese Corporationのメタノール製造事業について

2013年5月15日

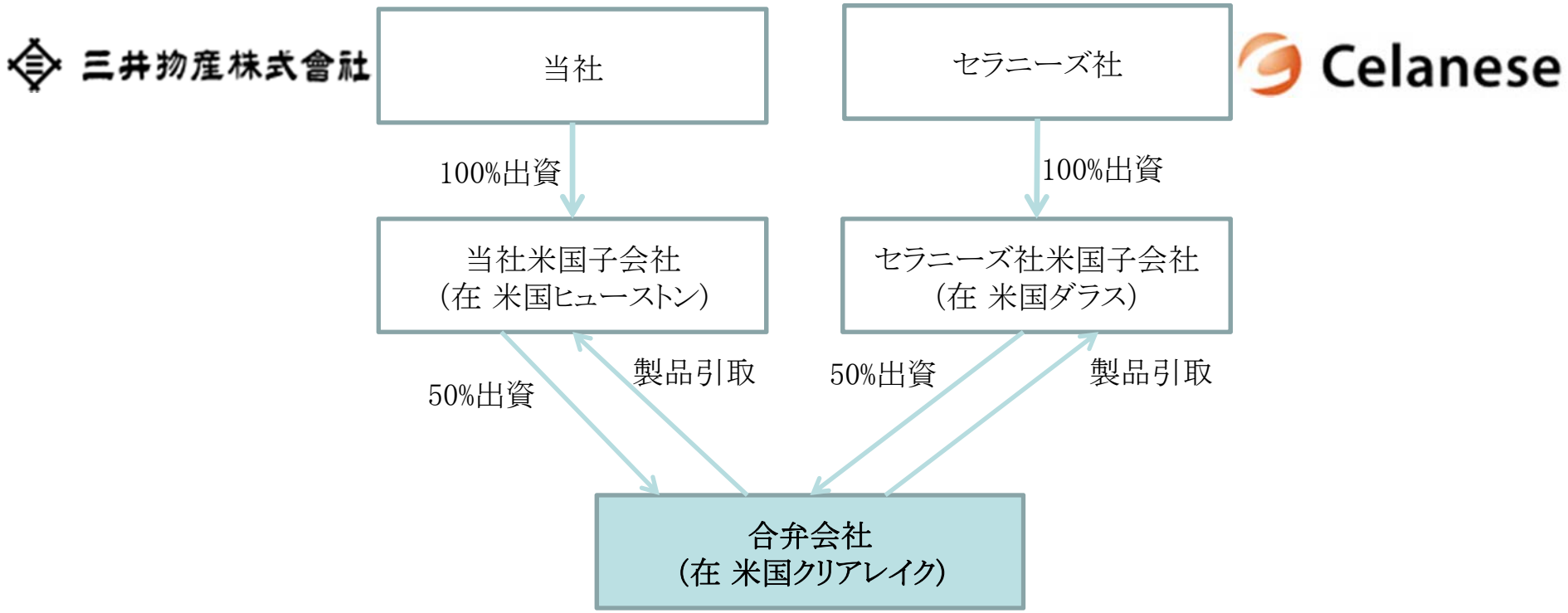
(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

MITSUI & CO., LTD.

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

案件概要

- 三井物産とセラニーズ社がそれぞれ50%出資し合弁会社を設立する合弁契約書に署名。
- セラニーズ社のテキサス州クリアレイク工場内で年間130万トンのメタノールを製造し両社が製品を引取。
- 2015年央の商業生産開始を予定。
- 総事業費は約8億米ドルを予定。
- 引取量を三井物産は主に米国内で販売、セラニーズ社は自社の川下製品の原料として使用。



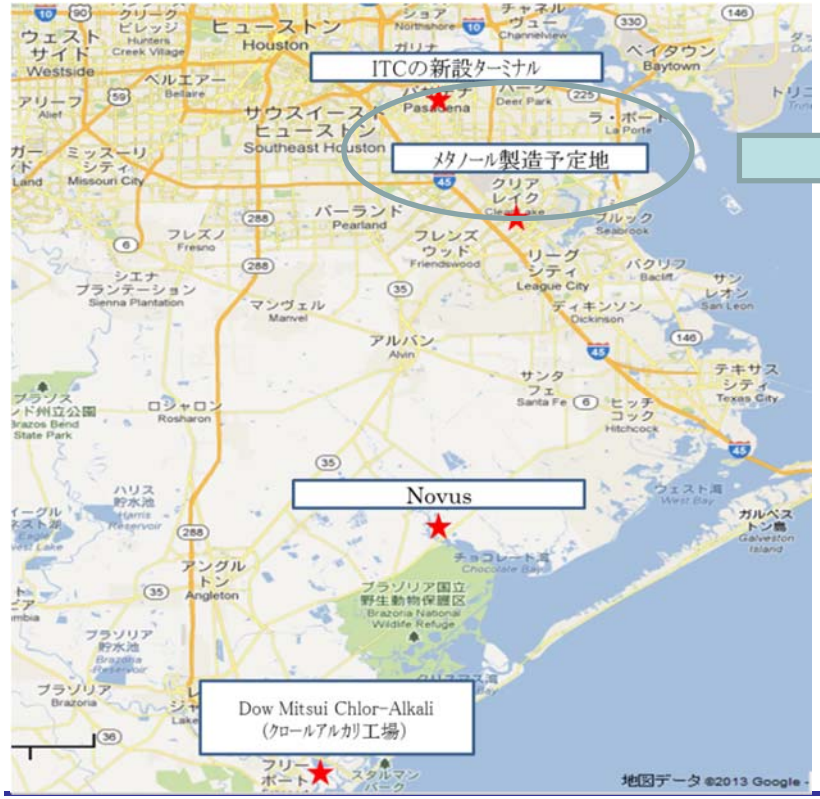
Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

クリアレイク工場外観

セラニーズ社概要

- 1918年設立の老舗大手化学企業。従業員約7,600人。ニューヨーク証券取引所（NYSE）上場。
- 世界27か所に製造拠点を持つ。その基幹工場の一つであるクリアレイク工場内に建設する予定。
- 世界最大のメタノール誘導品会社の一社で（酢酸・ポリアセタール等）、世界最大のメタノール需要家の一社でもある。

本案件の所在地



クリアレイク工場内の建設予定地

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

MITSUI & CO., LTD.

メタノールの用途

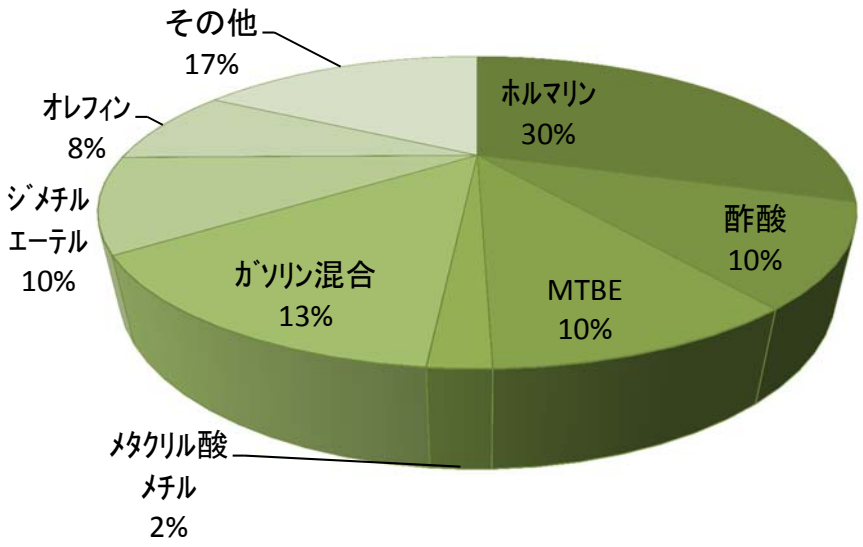
- ✓ 自動車・医薬・エネルギーなど、様々な業界で重要な基礎原料として使用されるため特定の産業の景気に左右されにくい。GDP成長率以上の安定的な需要増が見込まれる。
- ✓ 中国を中心に燃料用途や石油化学製品の原料に用いられるオレフィン（エチレン・プロピレン）向けの新規需要が創出され、高い成長が期待される。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

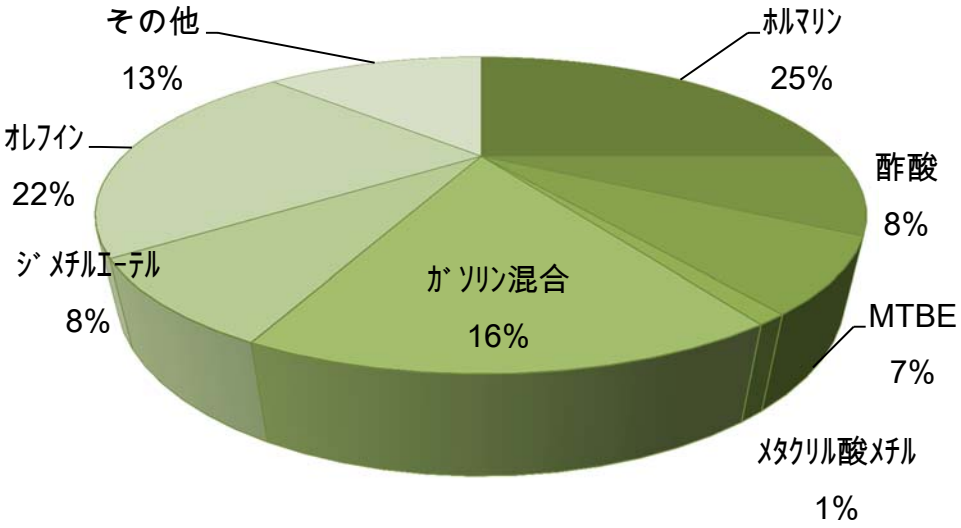
メタノール市場

- ✓ 2012年の世界需要は約6,000万トン。
- ✓ ホルマリン、酢酸等の伝統的な用途の需要は年率4-5%で安定成長すると予想される。
- ✓ 中国政府がメタノールのガソリンへの混合を推進、それに伴いメタノール需要の大幅伸長が見込まれる。
- ✓ メタノールからオレフィン(エチレン・プロピレン)を作る製造方法が確立、今後の成長が期待される。

2012年の世界需要:約6,000万トン



2016年の世界需要(予想):約9,500万トン

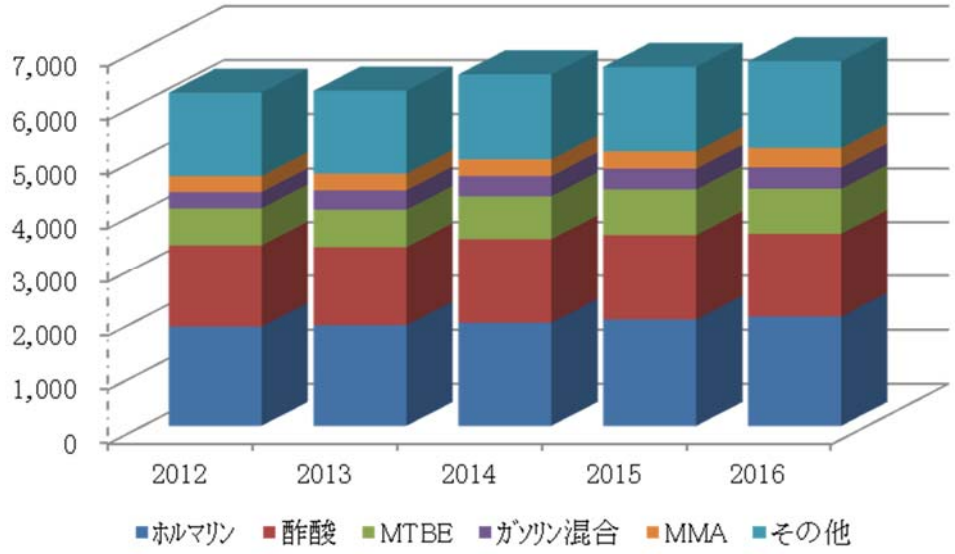


出典:IHS Chemical

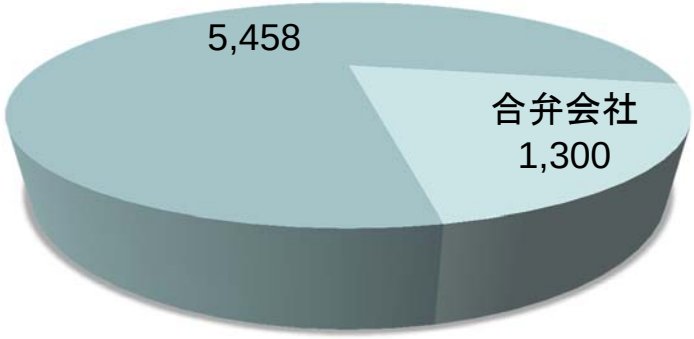
Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

米国メタノール市場

- ✓ 2012年の米国需要は630万トンと中国に続く第二位の市場。
- ✓ ホルマリン、酢酸等の伝統的な用途が需要の9割以上を占め、GDP並の2.5-3%の安定成長が予想されている。
- ✓ 米国需要の9割がテキサス州・ルイジアナ州に集中。セラニーズ社のクリアレイク工場はその中心地に位置している。
- ✓ 現在はトリニダード・トバゴやベネズエラ等から年510万トン程度輸入しているが、シェールガスの価格優位性により地産地消型に移行するものと予想。
- ✓ 今回製造する130万トンは米国需要の2割に相当。



2016年の米国需要（予想）：6.8百万トン



出典：IHS Chemical

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

本案件の狙い・意義

【メタノール事業の在り姿】
競争力あるガスを確保した　メタノールチェーンでの事業投資を実行してメーカーポジションを強化し、世界有数のグローバルプレイヤーを目指す。また、資源分野との協働を通じて、ガス化学に留まらず、化学品原料としてのガス開発を推進する。

- 当社が19.3%出資するInternational Methanol Company（サウジアラビア、年産110万トン）に続き米国で製造拠点を構え、事業ポートフォリオを拡充する。

- 世界第二位の米国市場（年630万トン）において、国産プレーヤーとして当社主要顧客へ安定供給し、顧客の成長を支援すると共に、米国での当社プレゼンスを強化する。

- 当社が既に手掛けている米シェールガス事業と連携して、天然ガスから化学品へのガスバリューチェーンを実現し、エネルギー事業と化学品事業という共同取組により当社総合力を発揮する。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

本案件の狙い・意義

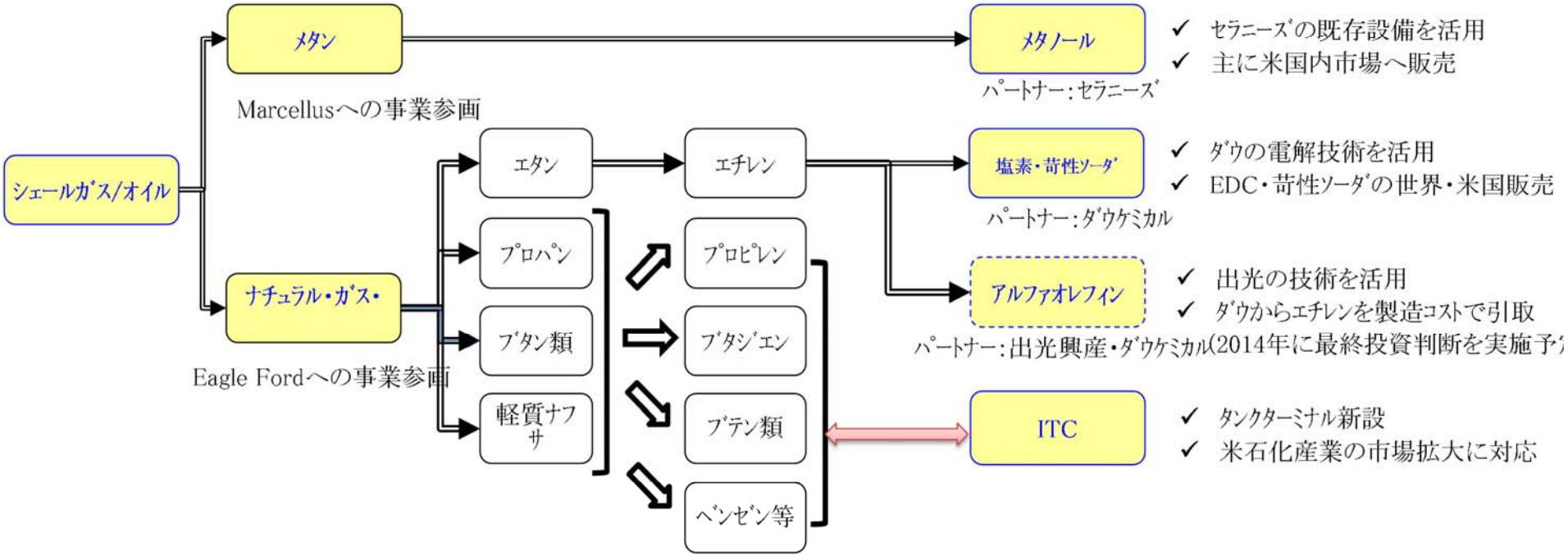
【メタノール事業の在り姿】
競争力あるガスを確保した　メタノールチェーンでの事業投資を実行してメーカーポジションを強化し、世界有数のグローバルプレイヤーを目指す。また、資源分野との協働を通じて、ガス化学に留まらず、化学品原料としてのガス開発を推進する。

- 世界最大のメタノール需要家と合弁会社を組成することで、年産130万トンの大規模工場を建設する。
- セラニーズ社の持つ既存設備をメタノール製造に用いることで、建設費用や運転費用を削減すると共に早期立上げを実現する。
- メタノールの操業経験豊富かつ安全管理に高い評価を受けているセラニーズ社に製造を委託し、安定・安全操業を達成する。
- 本合弁事業に続く共同事業も検討し、セラニーズとの長期的なパートナー関係を構築する。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

米国シェールガス戦略 - ガスバリューチェーン -

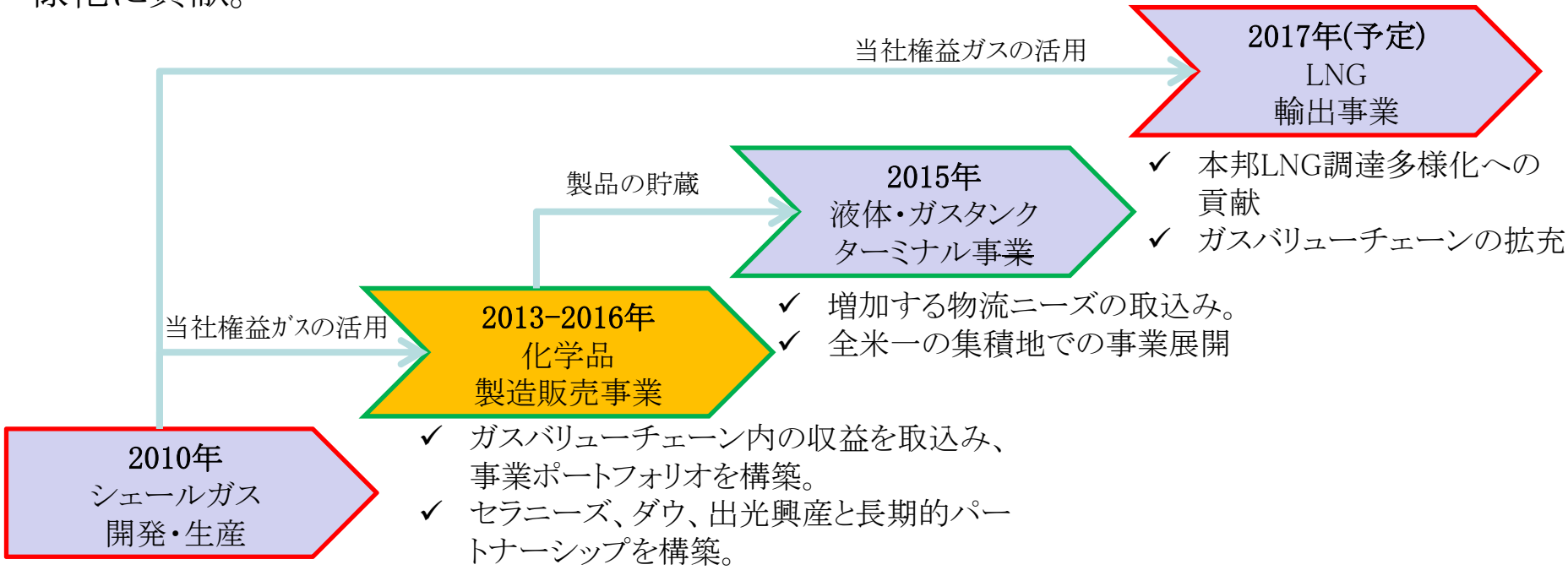
- ✓ シェールガス・オイル革命により豊富な埋蔵量とコスト競争力が期待できる米国でマーセラスやイーグルフォードの権益確保。
- ✓ 製造用地・設備を持つセラニーズやダウケミカル、高い技術力を持つ出光興産をパートナーに、シェールガスから化学品までの足腰の強い事業ポートフォリオを構築。
- ✓ 今後の成長が期待される石油・石油化学産業の需要を取り込むため、全米一の集積地でタンクターミナルを新設。



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

米国シェールガス戦略 - 総合力の発揮 -

- ✓ シェールガス革命を機に米国でのシェールガス開発生産に本格参入し、業界プレゼンス及び知見を蓄積。
- ✓ シェールガスを化学品事業に活用することでガスバリューチェーンを構築、天然ガス市況に左右されにくい足腰の強い事業ポートフォリオを確立。
- ✓ 将来的には安定供給力やコスト競争力に優れるシェールガスを日本へも輸出しLNG調達多様化に貢献。



- ✓ シェールガス事業への本格参入
- ✓ 事業パートナーとの関係強化、業界知見蓄積

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

当社の米国における新規化学品関連事業

ダウとの電解事業

所在地	Freeport, TX USA
事業内容	電解による苛性ソーダと塩素の製造・販売
設立年	2010年
操業開始	2013年
生産能力(年間)	苛性ソーダ 約88万トン、塩素 約80万トン
出資比率	The Dow Chemical Company 50%、当社 50%

セラニーズとのメタノール製造事業

本社所在地	Clear Lake TX
事業内容	メタノールの製造・販売
総事業費	約8億米ドル
操業開始	2015年央
生産能力(年間)	130万トン
出資比率	Celanese Corporation 50%、当社50%

ITC // ターミナルの新設

新設予定地	Pasadena TX, USA
総投資額	1.5億米ドル
操業開始	2015年第2四半期予定
当社比率	100%
売上	1.15億米ドル
既存敷地	100万平方メートル(Deer park TX)

出光興産とのアルファオレフィン製造事業

生産能力(年間)	33万トン(予定)
当社比率	50%(予定)
今後の予定	2014年 最終投資決定(予定) 2016年 稼働(予定)

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

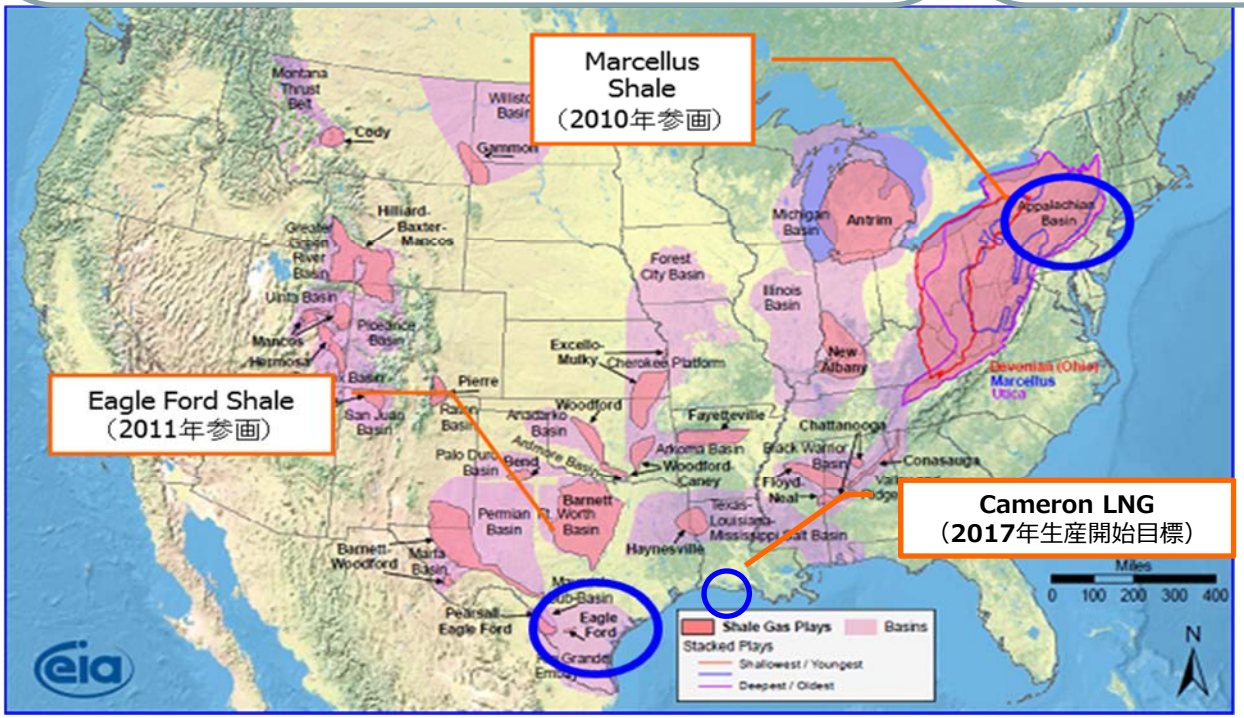
当社米国シェールガス/オイル開発生産プロジェクト

イーグルフォード(開発投資額:US$18億(当社グループ))

- ✓ 2011年6月、米SM Energy Companyと事業参画契約を締結し、シェールオイル/ガス開発生産プロジェクトに参画(12.5%の権益)。
- ✓ シェール層からガスに加えリキッド分(コンデンセート、ナチュラルガスリキッド等)が多く生産されることが特徴。

マーセラス(開発投資額:US$30-40億(当社グループ))

- ✓ 2010年2月、米Anadarko Petroleum Corporationと事業参画契約を締結し、シェールガス開発生産プロジェクトに参画(約15%の権益)。
- ✓ 100%出資の販社を設立し、自社のガス販売体制を構築



キャメロン LNG輸出プロジェクト概要

- ✓ Cameron LNG社が当社に対して年間400万tの液化サービス(供給を受けたパイプラインガスを原料にLNGを生産(液化)し、生産されたLNGを当社に供給するサービス、Tolling Agreement)を提供。
- ✓ 2017年 生産開始(目標)

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

当社中期経営計画における重点施策

川上領域への取組拡大
- 既存事業拡張、探鉱案件、穀物集荷・生産、資材原料等
- 資源ホスト国と資源開発事業双方の持続的な成長

ガス・バリューチェーン強化
- 資源開発～供給インフラ～トレーディングへの取組強化
- 化学・発電・輸送用燃料・次世代技術

総合力の発揮による収益基盤強化

パートナー戦略の強化
- 重点地域での優良パートナーとの全社重層的取組み

機能の高度化・新事業領域
先行的取組み強化
- 収益基盤の強化に必要な機能の高度化：金融・物流・IT

新興国の成長と**世界のニーズの取込み強化**
- グローバル物流ネットワークを梃とした事業展開
- 食糧・食品分野と農業化学分野の提携強化
- インフラ事業への継続的な取組み
- メディカル・ヘルスケア事業の展開加速、及び周辺事業の拡大

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

基礎化学品本部 – 14/3期 中期経営計画

【最重要課題】

(1)物流商内の再構築と収益立て直し、(2)既許可事業投資案件の確実な立上げ・管理と経営体制確立・果実化、(3)検討中・新規構想案件の実行と立上げ～新たなパートナーシップ形成

物流商内の再構築と収益立て直し

(物流商内の規律強化、推進・強化する物流「①物流から投資に繋がる物流、②投資から物流に繋がる物流、③新規の物流獲得に繋がる物流)

在り姿

進化し続ける化学産業に幅広くコミットし、個々の企業の事業領域や産業の枠を超えて未来の価値創造に貢献する

既許可事業投資案件の確実な立上げ・管理と経営体制確立・果実化

(Dowとの電解・塩ビ原料事業等における、予定稼働開始時期に向けた工期・コスト管理の実行、経営人材追加派遣。)

検討中・新規構想案件の実行と立上げ ～新たなパートナーシップ形成～

攻め筋:

- 米州、アジア
- シェールガス派生、グリーンケミカル(バイオマス原料、低環境負荷製品)、日本技術優位化学製品タンクターミナル事業

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

MITSUI & CO., LTD.